今春卒業生 就職決定率93.9％

５年連続上昇　女子は100％達成

学生一人一人に合った手厚い就職支援が石巻専修大学の特徴だ。独自の就職支援プログラムと経験豊富なスタッフの指導で、目標実現に向けて奮闘する学生を後押しする。2016年3月卒業生の進路状況と、今年度の就職活動状況、4年次生の声を紹介する。

◆　◆

16年3月に石巻専修大学を卒業した学生の就職決定率（就職希望者に対する就職者数）は93・9％。前年度比0・6ポイント増で5年連続上昇した。

学部別では理工学部93・9％（前年度比2・0ポイント減）、経営学部93・8％（同3・2ポイント増）。学科別では、機械工学科が2年連続で100％を達成した。

また女子学生が健闘。女子の就職決定率は前年から6・1ポイントアップし、両学部全学科（女子がいない機械工学科を除く）で100％となった。

業種別では、サービス業・医療福祉などが27・4％（同0・8ポイント増）、次いで卸売・小売業25・0％（同3・8ポイント減）、製造業21・4％（8・3ポイント増）だった。

地域別就職先では、北海道・東北地方が前年度と同じ57・7％、うち宮城県内は47・0％（8・3ポイント増）で地元志向が強まっている。

教員・公務員には7人が決まった。

多くの３年次生が出席した筆記試験講座＝５月19日

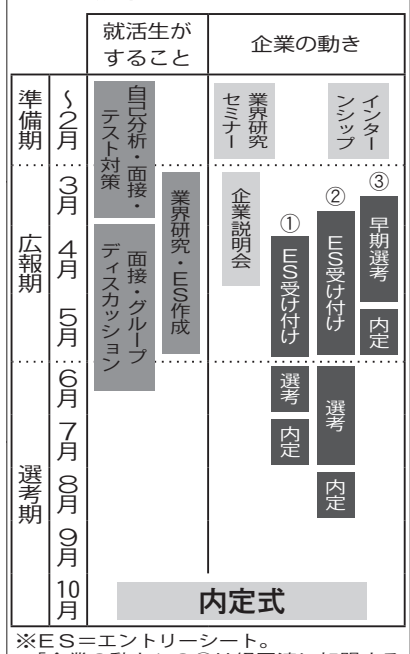
就活のすべてサポート

経団連加盟企業の就職スケジュールが2年連続で変更され、来春卒業生は説明会の解禁が3月、選考活動の解禁が6月1日で昨年の8月から2カ月前倒しになった。短期集中型となり、経団連に加盟していない多くの企業では面接など選考活動を早めに進めている。

石巻専修大学では就職相談員を配置し、教職員が連携して就職活動支援に当たっている。進路支援係では一人一人の適性や能力、要望に合わせ、時間を区切らず、いつでも学生の相談や模擬面接などに応じる。また内定を得た4年次生が学生就職サポーターとして後輩にアドバイスする。

支援プログラムは入学直後から実施され、年間60回を超える。資格取得やインターンシップなど就職活動のすべてのプロセスをサポートする。

2017年卒業生（現４年次生）就活スケジュール



※ＥＳ＝エントリーシート。「企業の動き」の①は経団連に加盟する大手企業、②③はその他の企業の日程。

自動車整備士に

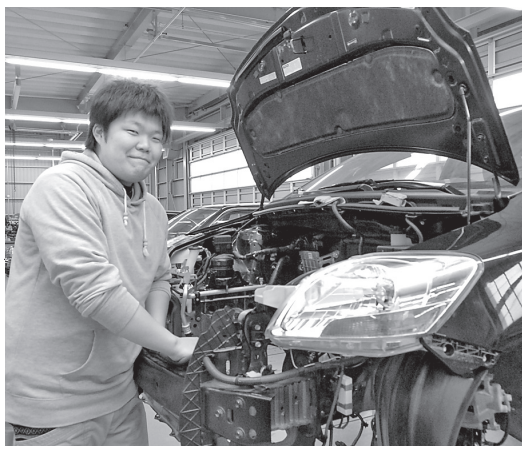
理工学部機械工学科
岩切　翔さん（宮城県中新田高）

就職スケジュールが昨年と変わったこともあり、エントリーから選考までの準備期間が短く感じられました。志望先の企業に問い合わせたら「数日後に2次選考で面接を行います」。面接練習の時間もなく、筆記試験は普段の勉強と知識で乗り切りました。

選考まで時間がないなか進路支援係に履歴書を確認してもらい、助言をいただいたので助かりました。

受けたのは2社ですが、説明会は8社ほど参加。就活では、積極的に質問や発言をして、自分をアピールすることが大事です。来年も同じスケジュールなら、年明けすぐにでも準備を始めたほうがいいと思います。

高校生のときから目指していた自動車整備士として働くことが決まりました。自動車工学コースでは自動車全般についてしっかり学びました。これを基に、車はお客様の重要な足だと気を引き締め、しっかりと整備していきたいです。



学内の自動車工学センターで整備の腕を磨く岩切さん

4年次生の就職活動記

市民生活守りたい

経営学部経営学科
畠山美穂さん（宮城県登米高）

東日本大震災で1週間、停電を経験しました。明かりがついた瞬間の感激が忘れられず、ライフラインを守る仕事に就きたいと思うように。日常生活に欠かせない電気設備、通信、交通などの業種にエントリーシートを出しました。事務職でも販売職でも、東北6県ならどこへでも行く覚悟です。

会社説明会は人事の方と話ができるチャンス。会社のホームページではわからないことを質問し、その企業の魅力をもっと知ろうと心掛けています。

誰かが困っていると知ったら、できることを実行する。復興を支援する山崎泰央ゼミの活動で多くの人と出会い、行動する大切さを学びました。2年半続けたホームセンターでのアルバイトでは、何か必ずお客さんと言葉を交わすよう努めました。人と人のつながりが一番のライフライン。社会人になっても笑顔と一声で周りを明るくしたいと思います。

図書館で復興支援について調べる畠山さん

石巻専修大学

石巻青年会議所理事長　佐藤　大介さん

まちに愛着と誇りを

「石巻には宝となる歴史や文化、食があります。それを若い世代が学び、愛着と誇りを持ってもらいたい。そうすれば地域はもっと良くなっていきます」。熱っぽく語るのは石巻青年会議所（ＪＣ）理事長の佐藤大介さん（平14石理工、36歳）だ。

石巻市出身。理工学部電子材料工学科（当時）で学んだ。4年次で参加した米国シアトルなどでの語学研修が「もっとも刺激的で勉強になった」と振り返る。

就職活動では大学に大いに助けられたという。「就職氷河期で、自分の出だしも遅かったのですが、就職担当の職員の丁寧な指導で就職先につないでもらえました」。医療機器メーカーに3年勤めた後、祖父が経営するインテリア会社に転職。同時に若手経済人でつくるＪＣにも入会した。

南三陸町で仕事中、東日本大震災に遭遇。辛くも津波から逃れたが、その経験から「生かされている」との思いが強い。

「課題を解決できるのは若い世代です。石巻を離れた人がいずれ帰ってくるような仕組みを作らなくてはなりません」と思案する。

5月に同市渡波であったイベント、サン・ファン祭りでは実行委員長を務めた。「祭りを通じて多くの市民が故郷に愛着を感じたと思います。石巻専修大生にも運営を手伝ってもらいました。今後も学生に積極的に参画してもらえるよう、呼び掛けていきます」

仕事や社会活動で大学時代のつながりを実感することも多い。「石巻専大生も地域の未来や自分の夢を考えてほしい。それが定まれば、限りある学生生活で何をしなくてはいけないか明確な目標ができてくるはずです」と後輩たちに期待する。

昨年3月に仙台市から石巻市に自宅を移した。幼い2人の息子には石巻に住んでよかったと思ってほしい。石巻で夢を育んでほしい。そのためのまちづくりに力は惜しまない。「それが私たちに託されたことなのではないかと思います」。柔和な目元に力を込めた。

復興応援の寄せ書きの前に立つ佐藤さん

地域と共に。
七十七銀行
しちじゅうしち　検索　http://www.77bank.co.jp/

2016年度学生数

※5月1日現在（カッコ内は女子内数）

◆学部◆

学部	学科	人数
理工	食環境	76(23)
	生物科	240(57)
	機械工	96(0)
	情報電子	93(2)
	基礎理	3(1)
	生物生産工	6(1)
	小計	514(84)
経営	経営	443(47)
人間	人間文化	65(28)
	人間教育	123(49)
	小計	188(77)
合計		1,145(208)

◆大学院◆

研究科	専攻	人数
理工学 修士課程	物質工学	0(0)
	機械システム工学	3(0)
	生命科学	3(0)
博士後期課程	物質機能工学	0(0)
	生命環境科学	0(0)
小計		6(0)
経営学 修士課程	経営学	4(1)
博士後期課程	経営学	3(1)
小計		7(2)
合計		13(2)